

# 介護部会 県西ブロック会議 報告書

実施日 令和元年 9月 30日(月) 14:00~16:00

会議実施会場 介護老人保健施設 ニューライフ湯河原

参加人数 6施設 11名 参加  
ニューライフ湯河原、にじの丘足柄、あじさいの郷、わかば、悠久、水之尾

議事項目 「介護職員の他部署との連携について」

## 内容

### A施設

看介護併せて療養課としている。それぞれの専門性は保ちつつ、尊重し協力し合っている。  
マンパワー不足により協力できない事も有り不満が聞かれる事もある。フロアでのカンファレンスにてケアマネ、栄養士、リハ、看護、介護が集まりご利用者の情報を共有している。

### B施設

介護、看護職員同士で業務を把握していないため、居て欲しい時に居ないなど意思疎通が難しい。  
介護職員同士でもフロア毎に業務が違うため、他フロアとも意見が合わなくなることがある。フロア会議に他部署を呼んだり、他部署からの質問に「分かりません」と言わないようにするなどし、それぞれの立場を尊重し合えるようにしている。

### C施設

介護、看護、リハビリ、栄養を含めて療養課としている。療養課としての会議を行おうとしているが、協力を得られず介護としての会議しかできていない。介護職員が足りず、看護含め5人夜勤体制のところ看護含め4人体制で協力して行っている。(月に5回程)  
リハビリ職員が足りず、リハ職員の指示のもとフロアリハを行っている。

### D施設

毎日、看介護のリーダー同士で連携の話し合いをしている。ご利用者のADLで気になった事があればリハ職員へ相談している。月に1回他職種と連携会議を開いている。

### E施設

全ての職員で全てのケアを行うという理念に基づき介護、看護、リハ、通所含め介護部としている。  
介護が点眼を行うし、看護がレクをすることもある。  
定期的にフロア異動があるため、仕事内容を統一している。朝の申し送りは全部署参加。  
プラン会議が流れ作業的なものになってしまっているので「話し合う場」になるよう今後考えていく。

### F施設

理事長の理念により看護との連携が難しい状態。重要な情報を伝達し忘れてることが多い。

フリートーク

外国人の入職を検討しているが、現在、外国人労働者がいる施設は？

→外国人労働者がいる施設はなし。

→テレビ電話での面接を行ったところ、こちらの問いかけや言葉かけに対して見当違いな返答があり、言語の問題がありそうだとのこと。

入職しても続かないことがあるため各施設でどのような新人教育を行っているのか？

→新人が一人立ちする期間を経験の有無に関わらず、2か月と定めている。

→ファイルを作り実習日誌の様に今日やったこと、明日したいことなど記入してもらい他職員も把握しやすくしている。面談を多くするなどして話を聴く機会を作っている。

→ここ2、3年は派遣からの入職が多い。2週間くらいサポート職員をつけ評価する。主任からは業務の話はせず世間話くらい。以前、職員と合わず退職の話も出たが、フロアを変えたら解決したことがあった。未経験者は2、3ヶ月様子を見ることもある。

→夜勤を含め3か月は様子を見る期間を設ける。相談役の職員をつけ1年くらい担当としている。

10年以上の職員を対象に面接し、新人教育について話している。

→3日間研修を行っている。(老健とは、理念など)新人教育マニュアル作成しており、チェック表にて評価している。1ヶ月毎に面談している。

→チューター制を導入し、新人教育マニュアルに沿って行っている。

伝達事項

次回開催予定 2019年12月19日(木)14時～ 開催予定施設 水之尾

以上